

一九五四年、中国人民保衛世界和平委員会より、「中日文化交流のため日本人民へ寄贈」された旧東亜同文書院大学中日大辞典原稿カードは日中友好協会の御斡旋により、愛知大学へ引渡されました。愛知大学はその原稿カードを基礎として中日大辞典を完成し、日中文化交流に寄与し、中国の御好意に報いることを期して鋭意努力致しました。貴国からはその後も参考図書等の資料の寄贈を受け、またたびたび御激励をいただいたことは感謝に堪えません。

中日大辞典は愛知大学における編集開始以来十三年の年月を費やして一応編集を終り、一九六八年二月「中日大辞典」として出版いたしましたことは、当時すでに御報告申上げました。読者の要望にもとずき今年春に版を重ねましたが、辞典の内容につきましては、所期の水準には達して居らず、今後ひきつづき増訂に努め、利用者各位より寄せられた御意見・御批判を汲み入れて、一層充実した辞典にいたしたいと考えて居ります。

一方中国に対しては、初版発行と同時に朝日・毎日両新聞社および友好貿易商社の御援助によって千二百冊を日中備忘録貿易事務所東京事務所を通じて中国へ寄贈することができました。これは中国の御好意に対して感謝の意を表するとともに、御批判御叱正をいただきましたためでありました。従って中国御訪問はわれわれ中日大辞典関係者年来の希望でありました。幸にして、もし、この希望が叶えられるならば、別紙名簿の如き人員を以って訪問団を組織し、明春、中国を訪問し、中国の実情を親しく見聞し、中国各方面より直接御批判御叱正をいただき、それを辞典の増訂に反映させたいと存じて居ります。

以上辞典増訂の方針と訪中の希望を申上げました。何卒格別の御援助を賜わりたくお願い申し上げます。

昭和四十六年九月

愛知大学内

中日大辞典刊行会 鈴木 沢郎

日本中国友好協会御中